

大手前新聞

創刊
2018年(平成30年)
佐伯市役所
大手前開発推進室
☎0972-22-4623

2020年 開館へ向け

さいき城山桜ホールの建設現場は、杭打ち工事が完了し、現在は建物地下部分の基礎工事を実施しています。工事の様子は、安全のために設置した仮囲いにより、容易に見ることはできませんが、今後、地下工事が完了して地上部分の工事が始まると、いよいよ新しい施設の完成に期待が膨らんでいきます。

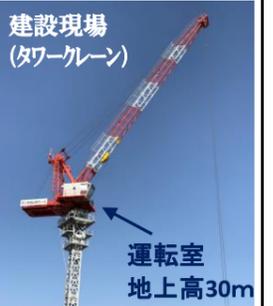
現在、建設現場には、建設資材の移送などを利用するタワークレーンを設置しており、同所から離れた場所でも、その姿を確認することができま。そのタワークレーンには、施工者の協力により、「さいき城山桜ホール」の文字が掲げられ、また、夜には装飾されたイルミネーションの色彩やかな光で、昼間とは違う雰囲気を楽しむことができます。

今年、建物の本体内工事の施工に取り掛かるため、クレーンを追加し、本格的に工事が進んでいきます。

2020年秋の開館に向け、引き続き、施工者と協力してまいりますので、ご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。



建設現場の様子
「さいき城山桜ホール」



建設現場
(タワークレーン)

運転室
地上高30m



建設現場(イルミネーション)



新屋敷商店街(イルミネーション)

大手前開発事業地周辺の新屋敷商店街では、11月から1月までの間、イルミネーションの飾り付けが行われ、通りを賑わせています。

さいき城山桜ホール開館後、周辺地域と協力して新しい人の流れを創出していきます。

事業目的と経過

市では、「様々な人々が交流する拠点」「文化・芸術・情報発信の拠点」「歴史とにぎわいのあるまち」を目標に大手前開発事業を進めています。

現在、事業地西側の「新設道路」「大手前情報発信館」「大手前バス停留所」「市営大手前駐車場」は、平成30年4月1日から供用開始を行い、市民の皆様にご利用いただいています。

今後は、事業地東側の「さいき城山桜ホール」の建設、道路改良、広場等の整備を行い、2020年の事業完了を目指しています。



完成予想図

道路工事のお知らせ

1月7日(月)から「あなみ回転焼」～「マルシヨク佐伯店」付近の道路改良工事が始まります。工事による作業音・振動や交通規制など、市民の皆様方には大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

なお、車両通行規制を行う場合は、工事予告看板等により、お知らせいたします。



さいき城山桜ホール シンボルマークデザイン募集

◆応募期間
平成31年1月4日(金)～2月14日(木)

◆賞品
賞金10万円と開館記念イベントの無料招待券

応募用紙は、市役所本庁総合案内、各振興局・出張所に置いています。また、市ホームページからもダウンロードできます。

応募条件など詳細は、応募用紙に添付の要領、市報1月1日号及び市ホームページでご確認ください。

佐伯がいちばん!

昨年3月、さいき城山桜ホール建築主体工事の施工者に決まり、5月中旬から工事に着工し、杭打ち工事を経て、現在は基礎工事を施工しております。

工事中は、近隣の皆様、関係者の皆様方には大変ご迷惑をお掛けしておりますが、工事関係者一同、最善の注意を払い工事を進めてまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて先日、大手前の数十年前の写真を見返した際、かつては賑わい華やかで活気に満ちた町であったのだという印象を受け、2020年以降の町のにぎわい創出の一翼を担う施設の工事に携わることができ、工事関係者一同、光栄に感じていきます。

今後、施設周辺一帯が大きく変わっていきます。さいき城山桜ホールが、佐伯市内外から多くの人々が集い、新しい町の顔として情報発信の拠点となるよう、また、感動を与えられる、さらに、あこがれの場所として活気あふれる施設になることを私たちも願っています。

人と人が集い、触れ合いながら安心して心豊かに暮らすことのできる場所、それをつくり、支えていくのが私たちの仕事です。

安全第一はもちろんのこと、建物の外形的・機能的な品質、そこに集う人、そこを使う人が満足し続けられる施設を目指し、工事関係者一丸となり努めてまいります。



熊谷・菅・佐々木
特定建設工事共同企業体
所長 佐々木 克樹